

JENESYS^{2.0}

JENESYS 2.0 韓国若手教員訪日研修団による外務省訪問

平成25年5月

JENESYS 2.0の韓国第三陣として5月14日から23日まで訪日している韓国若手教員訪日研修団約40名が、15日午後、外務省を訪問し、森本日韓交流室長から日韓関係についてブリーフを受けたところ、概要以下のとおり。なお、一行は外務省訪問後、愛知県及び埼玉県に移動し企業施設視察、ホームステイ等を経験。

1. 冒頭、訪日研修団一行を代表し、洪仁基（ホン・インギ）上炭初等学校教諭から挨拶があり、直接日本に触れ、日本人に触れることで日本を理解する機会になることを期待する等の挨拶があり、本プロジェクト実施への感謝が述べられた。

2. 続いて、森本室長から、歓迎の意を述べ、日本の立場から見た日韓関係を説明するとともに、日韓関係は難しい問題を抱えているが、そういう時こそ相互理解を深めることが重要であるとし、韓国国内の文化開放を契機に日韓間の文化交流が拡大し、相互理解が進展したことからも、今後とも様々な面の交流を続けていくことが日韓関係の向上のための解決策であると考えられるため、未来を担う青少年を育てる立場にある教員が、日本滞在中、様々な側面から日本、日本人、日本文化等に接して日本を理解して欲しい旨述べた。

3. その後、質疑応答が行われ、訪日研修団一行からは、日韓間の懸案問題等について質問があり、森本室長から回答しました。



(ブリーフ)
(集合写真)

